

令和5年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ）

小 論 文

初等教育教員養成課程

注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙の指定の箇所に横書きで記入すること。
2. 解答紙には必ず受験番号を記入すること。

〔問〕 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

そもそも「教育」とは何なのでしょう。私は、「教育 (education)」を定義するとき、「教育とは、誰かが意図的に、他者の学習を組織化しようとすることである」という定義を与えています。「教育とは何か」については、いろいろな人がいろいろな定義をしていますが、おそらく、最もシンプルな定義の一つだと思います。いろいろなものをそぎ落としてみて、最後まで残る重要な性質を、私は「教育」の定義に使っています。

「教育とは、誰かが意図的に、他者の学習を組織化しようとすることである」という定義には、①重要なポイントがいくつかあります。

一つ目は、「意図的に」です。つまり、こうなしてほしい、こういうことを理解してほしいという、教育しようとする誰かの意図が存在しています。

たとえば、私が何かを求めてヒマラヤ山脈に出かけて行って、広大な山並みを見て感動して、「ああ！」と何かを感じ取ったとしても、別にヒマラヤ山脈が「教育」についての意図を持って、私に働きかけてくれたわけではないですね。「ああ、これだ！」というのは私自身が自ら気づくわけです。そこには教育しようとする誰か他者の意図は存在しませんから、この定義に沿えば、そこに「教育」は基本的には存在しないのです。

「教育」についての私の定義におけるポイントの二つ目は、「他者の学習」です。教育には他者が存在します。というか、教育は他者を変えようとするお節介な営みなのです。だから、他人に押し付けるものであるという意味で、権力性を持っています。私が学生たちに、「これを覚えろ」「これについて考えろ」と言うのは、それ自体が一つの権力的な作用です。それどころか、「おとなしく座って、まずは俺の話を聞け」というふうになっている段階で、教育には権力が作用していることになります。

もう一つ、他者という点で重要なのは、教育する側にいる自分が望ましいとか必要だとか思うものを、他者、つまり被教育者がそのように思ってくれるとは限らないということです。私がシャガールの絵に感動して、「これを見せて感動させよう」と考えて子どもに見せたとしても、「ゲツ、下手くそな絵」と言われてしまうかもしれません。

他者が存在するということは、教育関係とは、ある人と他者との関係だということ

になります。その場合、教育者の意図とは別の状態にあるのが、被教育者です。教師が何かを教えたいと思っけていても、生徒がそれを学びたいと思っけているとはかぎらないのです。教育には、ここに根本的な不確実性が存在しています。

実際、教育を受ける側は、常にやり過ぎや離脱の自由を持っけています。私が高校生するとき、クラスのS君という友だちが、日本史の担当のN先生の授業が大嫌いで、時間中はいつもずっと窓の外を見ていました。ある日とうとう、N先生が怒り出してS君に何か言っただのですが、S君の方は「あんたの授業が下手くそだから、聞く気にならないんだよ！」と言っけて返して、S君の圧勝になりました。新米のN先生の授業は、私の目から見てても下手でした。

教育の定義の三つ目のポイントは、被教育者の学習を「組織化しようとするこつ」です。もつて回つた言い方になってはいますが、「しようとする」なのです。だから、失敗するかもしれません。でも、成功するか失敗するかにかかわらず、それは教育だと考えます。教育哲学者のプレツィンカは、医者が患者を治療する、というときの「治療する」というのと同じだと論じています。どういふこつかというこつ、「治療する」と「治癒する」とは違ふ。望ましい結果が得られるとは限らないわけです。教育もそれと同じで、「教育する」「教える」「教授する」というのこつ、その成果が実現するといふのこつとは違ふわけです。

「教育の失敗」について、もう少し述べると、教える側の意図が学ぶ側では十分に達成されなかつた「効果なし」だけでなく、「かえつて悪影響」といふこつもありえます。「望ましくない副作用」ですね。たとえば、教師の何げない言葉から、「人間は信用できない」と生徒が思ふようになってしまつたり、くり返されるテストを通して、勉強の苦手な生徒に「努力をしてもしょうがない」と考えさせてしまふようなこつがあります。学校は、生徒の人格の成長にとつて、かえつて悪影響を与える教育になってしまう側面もあるのです。

(出典) 広田照幸 (著) 『学校はなぜ退屈でなぜ大切なのか』 ちくまプリマー新書、2022年、pp.18-25 (設問の都合により本文の一部を省略している)

(問 1) 下線部①の「重要なポイント」について、200 字以内で要約しなさい。なお、本文中の言葉を用いて「第一のポイントは・・・点である。第二のポイントは・・・点である。第三のポイントは・・・点である。」という形で要約すること。

(問 2) 将来学校の教員になったとき、あなたは下線部①の「重要なポイント」のうち、どれをもっとも意識して教育を行いたいと考えますか。320 字以上 400 字以内で論じなさい。なお、冒頭にどのポイントをもっとも意識するか明記して書き始めること。